

3番 柴立 豊子 議員

1 不登校について

- (1) 本市においては、不登校について様々な施策が行われているが、現状として増えている。要因としては、どのようなことが考えられるか。
- (2) 本市は今年度から学校給食費が無償化となった。不登校児童・生徒にもその恩恵が受けられるようにできないか。
- (3) 学校で、毎年行われる検診について、不登校児童・生徒は受けられているのか。
- (4) 不登校児童・生徒の居場所としてフリースクールがある。しかし、そこでの費用は保護者負担となっている。何らかの支援を行うべきではないか。

2 人権・男女共同参画推進について

- (1) これまで各課で取り組まれている人権問題はどの程度この係に引き継がれるのか。
- (2) 今年度の人権の取組としてはパートナーシップ宣誓制度の導入と聞いている。導入後も引き続き性的マイノリティの問題は係として取り組まれるのか。

3 戦後 80 年の取組について

- (1) 戦後80年の取組の基本的な考え方は何か。
- (2) 次世代に何を残すのか。
- (3) 戦争が起こると市民生活はどうなるのか、また戦後どのような生活を送ることになるのか、という歴史の検証が必要と考えるがどうか。

15番 市来 洋志 議員

1 桜島の防災対策について

- (1) 近年の大規模噴火である大正噴火から110年以上経過している。近い将来桜島で大規模噴火が起きることが予想されているが、桜島が大噴火した場合、本市に及ぼす災害はどのようなものがあるか。
また、影響はどの程度あるか示されたい。
- (2) 災害は、事前に予測し備えることが最も被害が少なく済むとされている。地震、台風、水害等の対策は備えられていると思うが、身近にある桜島の大規模噴火に対して事前の備えはしてあるか示されたい。

2 橋梁替え、修繕について

- (1) 橋梁を架け替え、修繕を順次進めていると思うが、長年使用されていて安全性に欠けるもの、非常に狭小で現在通行するのに不便なものも多くあると思われる。
架け替えや改修をする際、橋幅等を広げるような計画は立てられないか示されたい。

3 市営住宅について

- (1) 老朽化し入り手が中々見つからない市営住宅を政策空家として存在しているが、政策空家周辺の管理はどのようになっているか示されたい。
- (2) 串良町の宮之下住宅が取り壊されて空き地になっている。低地であるため大雨の時には床上浸水もあった土地であるが、改良すれば大変有効的に使える場所だと思う。今後どのような活用を考えているか示されたい。

9番 田辺 水哉 議員

1 地域医療構築について

- (1) 本市では1次医療機関の減少が懸念されるが、地域医療の維持の為に施策はあるのか。
また、医療機関等との連携は図られているか。
- (2) 地域医療の確保の観点からも、医療機関や介護施設などとの連携は必要不可欠と思われるが、医療連携体制の構築はなされているのか。
- (3) 鹿児島大学の医学部では、県内の地域枠での募集定数があるが、本市からの入学者はいるのか。
また、周知など行っているか。

6番 川崎 勝 議員

1 子育て支援の更なる充実について

少子化の流れを止めるためにも、所得にかかわらず原則全ての子ども保育料を市独自に無償化するなど、更なる子育て支援の拡充が必要と考えるが見解を伺う。

国は総合的な少子化対策の一環として、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、3歳児から5歳児までの全ての子ども、および0歳児から2歳児までの住民税非課税世帯の子どもを対象に令和元年の10月より幼児教育・保育の無償化を実施しているが、市民から「ただお金を配るだけではない、子ども達に平等にかつ直接支援が出来るような税金の使い道を」という要望を受けて、以下質問をする。

- (1) 本市の無償化対象世帯数について、幼保それぞれ述べられたい。
- (2) 国の示す基準額と比較して本市の保育料の現状を示されたい。
- (3) 国において、令和元年施行の子ども・子育て支援法の改正に対する附帯決議の中で、0歳児から2歳児までの全ての子どもを無償化の対象とするよう検討を行い、所要の措置を講ずるものとされているが、本市も早急に子育て世代の経済的負担を軽減するため無償化を急ぐべきだと考えるがどうか。
- (4) 小中学校だけではなく、幼稚園・保育園の副食費も無償化する考えはないか。
- (5) 全ての子どもの「医療費の窓口負担なし」への実現はいつ頃か、示されたい。

11番 安田 謙太郎 議員

1 町内会について

- (1) 現在の町内会加入率等について伺う。
- (2) 防犯灯の現状等について伺う。
- (3) ごみステーションの管理について伺う。
- (4) 広報、回覧板での周知を可能な限りデジタル配信に変更できないか伺う。
- (5) 町内会組織運営のスリム化に向けた市の取組について伺う。

2 「かのや Meets2024」で行われた屋台イベントについて

- (1) 屋台イベントを行ってみての振り返りと反省点を伺う。
- (2) 屋台専用の保管場所を確保する考えはないか伺う。
- (3) 今回に限らず実証を重ね常設化された場合、中心市街地活性化に大きく影響を与えられるが市長の考えを伺う。

7番 米永 あつ子 議員

1 市民サイドに立った快適な街づくりについて

- (1) 向江町から市役所までの道路は、利用者も多く、通学路にもなっているが、街路灯がなく「暗くて危険な場所」の印象を受ける。かつて賑わっていた地域の商店街の灯が消え、防犯灯が必要と思うが、設置についてどう考えるか。
- (2) リナシティかのやの駐車場の確保について
駐車場不足が課題でもあったリナシティかのやに中央公民館機能が移り、さらに駐車場不足に拍車がかかっている現状をどう見るか。
また、駐車場不足を解決するためにマックスバリュの駐車場に立体駐車場を整備するなど必要ではないか。
- (3) 令和6年4月1日から鹿屋市市民交流センターの機能見直しによる市民サービス低下について
- ① フィットネスホールやロッカールームなど管理をする3階スタッフルームもシャッターが降り、利用者は困惑している現状がある。利用者サービスや安全管理のためにもスタッフルームへのスタッフ配置は必要だと考えるが見解を示されたい。
- ② ①の対応について指定管理者との協議でどのような意見があったのか示されたい。

2 指定管理者制度について

- (1) 指定管理者制度の中で働く人の多くはパート扱いであり社会保障も十分でない不安定な労働条件と言われる。地元雇用者の生活の安定のために、社会一般の雇用労働環境の目安である賃金水準の変動に応じて、2年目以降の指定管理料を変更する仕組み『賃金水準スライド』導入についての見解を示されたい。
- (2) 指定管理者制度において、仕様書違反等を行った指定管理者へ市役所はどこまで介入できるのか、その範囲について示されたい。

23番 梶原 正憲 議員

1 ハラスメント防止対策について

- (1) ハラスメントに対する現状認識及び今後の取組について示されたい。
- (2) 民間企業や外郭団体及び指定管理者等に対するハラスメント防止の取組について示されたい。
- (3) 住民からの暴言・不当な要求などの被害は民間にとどまらず、多くの自治体に起きている状況を見聞するが、本市におけるカスタマーハラスメント（カスハラ）の実態を示されたい。
また、カスハラによる不当要求行為に対する条例制定後の運用状況の取組を示されたい。

2 うそ電話詐欺等の被害防止について

- (1) 本市における最近の特殊詐欺の手法や被害金額及び被害件数を示されたい。
- (2) 本市と関係機関、特に警察とはどのような連携をされているのか。
また、市民への周知、詐欺被害防止の啓発と取組について示されたい。
- (3) 自動通話録音装置の無料貸し出しや購入助成の考えを示されたい。

12番 吉岡 鳴人 議員

1 福祉政策について

(1) 政府は社会保障として、歯の健康維持を介して体の健康につなげる政策を打ち出し、来年度より「国民皆歯科健診」を義務付ける方針である。

今後、歯や口の健康の大切さを啓発するとともに市民に向けた制度の周知と理解浸透をどのように図るのか。

また、管内歯科医師会との連携について示されたい。

(2) 社会福祉施設者に対する軽自動車税種別割の免除について、社会福祉法第2条に規定する事業を行う社会福祉施設で入所者の送迎用等に使用する際、一定の条件を満たす場合、軽自動車税の減免制度を設ける考えはないか。

2 農業政策について

(1) 本市は昨年度より新たに「第2次かのや農業・農村戦略ビジョン」を策定し、農業振興と課題解決に各種施策を展開している。

そこで、多様な担い手の確保と育成及び農業産出額増大に向けた進捗状況について示されたい。

また、食料・農業・農村基本法について、現行基本法の基本理念が見直されたが、今後の農政の基本的な方針を示すものとしてどのようにとらえているか。

(2) 養豚業のふん尿共同処理施設である鹿屋市畜産環境センターについて、個別処理施設の整備遅延に伴い延伸稼働が課題となっている。

そこで、利用農家への対応と個別処理施設整備の進捗状況および今後の具体的方針について示されたい。

13番 岩松 近俊 議員

1 鹿屋市制施行 20 周年について

(1) 令和 8 年 1 月に市制施行 20 周年を迎えるに当たり、本市の考えを示されたい。

① 今後の記念事業計画や準備実行組織の編成についての考えを示されたい。

② 市制施行 20 周年に向けた機運醸成を図る目的として、市民参加型のイベントや、農商工業関係者との連携についてどのように考えているのか示されたい。

2 スポーツ振興について

(1) 鹿屋市スポーツ関係施設再配置計画については、以前の質問の答弁で、一定の成果はあり、今後については施設維持を図りながら市民のスポーツ活動を一層活性化させ、スポーツの町鹿屋づくりを推進されるとのことでした。スポーツ施設を最大限活用してもらうためにも、施設を利用する市民や関係団体から10年間の事業評価、今後の施設管理運営のために意見や要望を取れ入れるシステムは考えられないか。

(2) 本市におけるスポーツ振興の推進を図るため、トップアスリートの強化支援事業は考えられないか。

21番 西菌 美恵子 議員

1 認知症施策及び認知症基本法について

- (1) 本市の近年における若年性認知症も含めた認知症の方の現状と施策、今後予想される推移について示されたい。
- (2) 本年1月「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、努力義務として各自治体に「認知症施策推進計画」の策定を求めているが、本市はどうか。また留意点は何か示されたい。(高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画との関連はどうか示されたい。)
- (3) 「認知症基本法」の施行によって、「地域包括支援センター」の役割がより重要になると考えられるが、関係機関との連携も含め、今後の取組と課題を示されたい。
- (4) 「認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進」についての現状と今後の取組について示されたい。
- (5) 他市には認知症高齢者やその家族を支援する「チームオレンジ」等があるが、本市の状況はどうか。
- (6) 早期発見、早期受診、早期対応を推進するとあるが、現状と課題について示されたい。
- (7) 認知症になっても安心して外出ができる「希望をかなえるヘルプカード」についての啓発と利用状況はどうか。また、「ヘルプカード」との共用についてはどうか。
- (8) 「認知症基本法」の中で、学校教育及び社会教育における認知症に関する教育の推進とあるが、児童生徒の学年等も考慮し、今後の取組はどうか示されたい。

2 市民健康相談コーナー創設について

- (1) 市民の健康増進を踏まえ、市役所エントランスにて「市民健康相談コーナー」を創設し、体力測定、軽度認知度テスト、健康相談等に取り組むことはできないか示されたい。

2番 松野 清春 議員

1 道路管理について

(1) 路面標示について

路面標示は改善されつつあるが、一部白線が薄くなってよく見えないところがある。特に交差点付近やカーブなど見られる。県や国の関係機関とも相談しながらしっかり行っていただきたい。

(2) 草竹木の除去について

道路脇や法面の草・竹・木等が繁茂して見通しの悪い所が見受けられる。特に交差点付近の除草、伐採など重点的に出来ないか。

県道の法面の草木が目立つところが多くなっており、県と相談しながら対応してやって頂きたい。また、道路脇の花壇の「かや」なども景観上除去して頂きたい。

(3) 高木などの伐採には高所作業車が必要な場合があるが、町内会などで作業車をレンタルして作業を行う場合、市の補助等は出来ないか。または、市の方で所有し直営作業で高木伐採出来ないか。

(4) 地権者の所在確認など地権者の了解を得るのが難しくなっている。条例化などは検討出来ないか。

2 オーガニックについて

(1) 6月議会の提案理由の中にも、有機農業について述べてある。

その中の「鹿屋市有機農業推進協議会」について、有機農業の専門家は含まれているのか。

(2) これから推進方針を作成するとあるが、有機農業を行っている団体との数量や作物の種類などについて具体的な話し合いはいつごろから予定しているのか。

(3) 有機農業を始める農家に対して、どのような指導、優遇措置を考えているのか。

(4) 消費者に対する啓もう活動はどのように考えているのか。

- (5) 今年度から学校給食費の全額補助が行われることとなった。全国的にも3割以上の自治体で実施されるようになってきた。今後は内容・質が問われてくると考えられる。購入単価や調達数量の検討など計画的にオーガニックを取り入れていく考えはないか。
- (6) 保護者の皆さんに対して、オーガニック給食に対するアンケートなどを行う考えはないか。

17番 中馬 美樹郎 議員

1 学校給食費の無償化後の質の維持向上について

- (1) 学校給食の質を維持向上させて、栄養バランスのとれた豊かな食事を子どもたちに提供し続けるために、物価上昇率を反映した学校給食の予算の見直しは、毎年度なされるのか示されたい。
- (2) 物価上昇率を反映した学校給食予算の見直しのための具体的な事務は、どのような形で行われるのか示されたい。

2 平和ツーリズムの推進について

- (1) 市内には戦争遺跡も数多く残っており、地下壕など保存を望む声もある。また、児童・生徒の平和学習や鹿屋を訪れる戦跡巡りの人々にも平和を広く訴える場所がある。今後、戦跡整備・保存の計画があるか示されたい。
- (2) 鹿屋の特攻に関する書籍等を見て、子どもたちが戦時中の様子を知ることができる場所として、史料館が必要であると思うが見解を示されたい。
- (3) 戦争体験談の映像は、実際の語りを聞くことにより、見る人に強く訴える力があると思う。現在どのように活用されているか。
また、今後どのように活用するのか示されたい。

18番 原田 靖 議員

1 安全・安心な社会について

(1) 保護司会活動と「社会を明るくする運動」の推進について

大津市で保護司として長年活動していた男性の遺体が見つかった事件で、保護司制度の有り様を社会全体で考える機会として

- ① 今回の事件を受け、退任やなり手不足が深刻化する恐れがある。保護司の役割や活動を理解するための啓発の機会を提供できないか。
- ② 保護司の面接の場として、公民館など公共施設利用について特段の配慮をお願いできないか。
- ③ 保護司会の主な活動の中に、「社会を明るくする運動」「再犯防止推進」があるが、社会全体の役割という意識から社会運動、市民運動として展開していく考えはないか。

2 観光振興について

(1) かのやばら園について

- ① 今年の「かのやばら園」の特徴と入場者数、今後の誘客促進のための戦略についてどのように取り組んでいくか。
- ② かのやばら園内にある「あじさいロード」には、300種・2,000株と県内屈指のあじさいが咲き誇っている。また、年間を通じて霧島ヶ丘公園は、色々な花を楽しむことができる貴重な資源である。これらを生かして更に情報発信し誘客促進につなげていけないか。

(2) 鹿屋港の栈橋の完成について

令和2年以降、鹿屋港とマリンポート間の不定期航路が関係企業の協力により実証運航されてきた。同時に、課題も提起されてきた。

- ① 4月、鹿屋港に立派な浮栈橋も完成し、また民間企業による定期航路も近々認可されると聞く。今後観光振興にどのように生かしていくか。

- ② 実証運航を通して、色々な課題も指摘されてきた。クルーズ船の寄港も増加が見込まれ、定期航路が開設されると、歓迎されると同時にツアー造成や二次交通など課題も多い。これらの課題を解決しどのように取り組んでいくか。

4番 福田 伸作 議員

1 福祉行政について

- (1) 全ての人々が相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会について、本市の見解を示されたい。
- (2) 独居高齢者の増加が見込まれる中、身寄りのない人や、あるいは家族がいる場合であっても頼れない状況がある。身元保証や財産管理といった生活上の課題に対し、相談窓口等の支援策はあるか、示されたい。
- (3) 国の新たな権利擁護支援策構築に向けた「持続可能な権利擁護支援モデル事業」についての見解を示されたい。
- (4) 身寄りのない高齢者等の日常生活支援や入院・入所時の身元保証を代替する支援、また死後の事務支援を併せて提供するなどの仕組みが必要と考えるがどうか。

2 消防行政について

- (1) 大規模地震が発生した場合、同時に複数個所で火災が発生することが予想される。その際の本市の対応策を示されたい。
- (2) 消防団と自主防災組織が連携強化を図ることで、消防団の負担軽減につながると考えるが、どうか。
- (3) 町内会や自主防災組織が消火栓や可搬ポンプを使用し、水出し訓練を行っている自治体がある。これについて、本市の見解を示されたい。
- (4) 機能別団員の現状と課題を示されたい。

5番 児玉 美環子 議員

1 市民生活の環境改善について

- (1) 2023年4月1日施行の改正民法（所有者不明土地等関係）により、隣地の空き地・空き家等から竹木の枝が境界を越えて繁茂した場合、越境された土地の所有者は、木の所有者に枝を伐採させる必要があるという原則を維持しつつ、竹木の所有者が切除しない等の場合には、自ら枝を切り取ることを認める規定が導入されたが、本市の現状と取組はどうか。
なお、公道にはみ出した樹木や草に関しても同様に適用されるか、本市の見解を示されたい。
- (2) 本市は昨年7月より、どうぶつ基金を活用して飼い主のいない猫の不妊・去勢手術を行う「さくらねこ無料不妊手術事業」を推進している。本市が窓口となり、どうぶつ基金に申請しているチケットの利用状況と課題について示されたい。
- (3) 猫の不妊・去勢手術を含む地域猫活動を更に推進する考えはないか。

2 保健福祉行政について

- (1) 認知症の方々が安心して暮らせる地域づくりのための具体策と認知症に対する正しい理解を深めるための広報活動について示されたい。
- (2) 教育現場において、認知症の人への理解を深めるためにどのような取組が考えられているか。
- (3) 加齢による難聴が認知症の危険因子の一つであることは周知の事実であり、ヒ어링フレイルと言われる高齢者の虚弱を招くリスクがある。このようなことから、補聴器の活用が有効と思われるが、医師や専門家の助言を前提とした補聴器購入費用の一部助成は考えられないか。
- (4) 本市窓口において難聴者への配慮はなされているか。

16番 繁昌 誠吾 議員

1 観光振興について

(1) おおすみ観光未来会議について

- ① 今年度から事業執行責任者（ＣＯＯ）として鹿児島県職員ＯＢが採用されたようであるが、いつ、誰が、どのような形で採用を決定したのか、経緯について示されたい。
また、今回のＣＯＯの役割と、今後どのような任務を与えるのか示されたい。
- ② 今回のＣＯＯ（事業執行責任者）の採用に伴い、取締役や職員等の報酬等にどのような影響が出ているのか、令和２年３月及び６月の答弁においてＣＯＯ（事業執行責任者）を置かずに取締役や社員の雇用で対応するとされていた点との整合性を含め、詳細を示されたい。
- ③ 本年３月の予算委員会において、令和６年度予算審議の所管課説明ではおおすみ観光未来会議に対する４市５町からの負担金（委託費等）について説明がなかったようであるが、その理由を示されたい。
また、各市町との協議について詳細な内容を示されたい。

2 町内会の在り方について

(1) 町内会の在り方及び課題について

- ① 人口減少・高齢化の進展に伴い、町内会加入者数の減少と退会者数の増加という課題が生じていると複数の町内会長から切実な声が寄せられている。令和５年１２月定例会において、町内会の在り方について検討を進めているとの答弁があったが、現在の検討状況と今後の見通しについて、示されたい。
- ② 現状、街灯や防犯灯の設置は町内会に委ねられており、これらの設置による恩恵は、町内会加入者と未加入者双方に平等に及ぶと考える。しかし、近年における加入者の減少に伴い、町内会の運営が厳しい状況に直面しており、町内会加入者のみが設置費用を負担する現状は、不公平感を招きかねない。市民の安心・安全を守るという観点からも、行政による設置が望ましいと考えるが、市長の見解を示されたい。

- ③ これまで、ごみステーションの管理について、質問や提案をしてきたが、町内会役員及び加入者から依然として不満の声が寄せられている。鍵付きのごみステーションや未加入者専用のごみステーションなど、各町内会における設置状況に差異が生じている現状について、現在の協議状況と今後の対応について、示されたい。
- ④ 町内会及び加入者の負担軽減策として、広報誌の見直しや未加入者への対応等、不公平を是正する取組が必要だと考えるが、見解を示されたい。
また、町内会の運営等について加入者からの相談等があった場合の対応についてどのように考えているか、見解を示されたい。